

令和4年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
畑作物栽培研究会（夏期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 迫田登稔

1. 趣 旨

近年、外来植物が河川敷や山林、雑草地等に侵入して蔓延し、農耕地にも被害を及ぼす事態が全国的に拡大している。農耕地での外来植物の発生・蔓延は、収量や作業能率への影響が大きいため、その生態や防除法についての研究が各方面で取り組まれているが、外来植物の発生期間は作物の生育期間と重なるため、難防除雑草とされている場合が少なくない。今回、畑作物のなかでも、東北地域で広く導入されている大豆作を対象に、より効率的な難防除雑草対策について、意見交換や現地検討会を通じた検討を行う。

2. 開催日時 令和4年8月30日（火）13:15～8月31日（水）13:00

3. 開催場所

- 1) 研究会 宮城県古川農業試験場（宮城県大崎市古川大崎字富国 88）
- 2) 現地検討会 難雑草防除対策技術導入事例圃場（調整中）
 - （1）トリフルラリン乳剤の大豆播種前土壌混和（宮城県登米市）
 - （2）輪作による難防除雑草対策（宮城県遠田郡涌谷町）

4. 内 容

- 1) 研究会「東北地域の大豆作における難防除雑草対策」8月30日（13:15－17:00）
 - （1）東北農政局による情勢報告
 - （2）講演「（仮題）東北地域の大豆作問題雑草とその対策」
農研機構 植物防疫研究部門 グループ長補佐 浅井元朗 氏
 - （3）話題提供「（仮題）宮城県における大豆作雑草防除」
宮城県古川農業試験場 作物栽培部 主任研究員 金原昭三 氏
 - （4）畑作物生育状況および試験概要報告（各県・農研機構東北農研センター）
 - （5）意見交換
 - （6）その他
- 2) 現地検討会 8月31日（8:30－13:00）
（集合 8:20 JR 古川駅西口、解散 13:00 JR 古川駅西口）

5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、東北農政局担当官、県行政部局・県普及部局の関係者、「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォームの会員、その他推進部会長が必要と認める者

6. 連絡先

農研機構東北農業研究センター（大仙研究拠点）水田輪作研究領域
上級研究員 島村聡（〒019-2112 秋田県大仙市刈和野字上ノ台 297）
Tel: 0187-75-1084 Fax: 0187-75-1170 E-mail: shimamu@affrc.go.jp
宮城県古川農業試験場 作物栽培部 大豆・麦チーム
主任研究員 金原昭三（〒989-6227 宮城県大崎市古川大崎字富国 88）
Tel: 0229-26-5108 Fax: 0229-26-5102 E-mail: fn-ss@pref.miyagi.lg.jp
（研究会の運営、資料提出等の詳細については、別途事務連絡します。）

7. その他

新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の対応をお願いします。

- 参加者は、マスクの持参および着用をお願いいたします。
- 発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、嗅覚・味覚障害等の症状がある方、海外から帰国して2週間以内の方は、参加を控えてください。
- 状況により、オンライン会議やメール会議等、開催方法の変更も検討します。
- 運営事務局は出席者名簿を作成し、万一、会議参加者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。